



平成27年12月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年8月5日 東

上場会社名 ミヨシ油脂株式会社 上場取引所
 コード番号 4404 URL <http://www.miyoshi-yushi.co.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 堀尾 容造
 問合せ先責任者 (役職名) 取締役執行役員経理財務部長 (氏名) 山下 史生 (TEL) 03-3603-1149
 四半期報告書提出予定日 平成27年8月7日 配当支払開始予定日 —
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年12月期第2四半期の連結業績 (平成27年1月1日～平成27年6月30日)

(1) 連結経営成績(累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年12月期第2四半期	22,327	△0.6	199	134.0	334	42.7	88	△23.9
26年12月期第2四半期	22,470	3.5	85	△87.1	234	△66.8	116	△75.8

(注) 包括利益 27年12月期第2四半期 1,386百万円(—%) 26年12月期第2四半期 2百万円(△99.8%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年12月期第2四半期	0.86	—
26年12月期第2四半期	1.13	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年12月期第2四半期	48,601	22,972	47.2
26年12月期	47,443	21,374	45.0

(参考) 自己資本 27年12月期第2四半期 22,941百万円 26年12月期 21,344百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年12月期	—	—	—	3.00	3.00
27年12月期	—	—	—	—	—
27年12月期(予想)	—	—	—	3.00	3.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年12月期の連結業績予想 (平成27年1月1日～平成27年12月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	48,200	6.2	970	569.0	1,110	217.1	570	165.1	5.53

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 : 無
- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無
- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
 - ② ①以外の会計方針の変更 : 無
 - ③ 会計上の見積りの変更 : 無
 - ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料4ページ「2. サマリー情報（注記事項）に関する事項（3）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	27年12月期2Q	103,068,954株	26年12月期	103,068,954株
② 期末自己株式数	27年12月期2Q	88,280株	26年12月期	87,018株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	27年12月期2Q	102,981,625株	26年12月期2Q	102,982,813株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 継続企業の前提に関する重要事象等	4
4. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
四半期連結損益計算書	7
四半期連結包括利益計算書	8
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	9
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（平成27年1月1日～平成27年6月30日）における我が国経済は、政府主導の各種経済政策により大企業を中心に企業収益が改善するなど景気は緩やかな回復傾向が続きましたが、中国経済をはじめとした海外景気の減速が懸念され、先行きは不透明な状況で推移いたしました。

当油脂加工業界におきましては、食品の値上げの影響等により消費が低迷する一方、円安等の影響で原材料価格をはじめとする様々なコストが上昇し、非常に厳しい経営環境で推移いたしました。

このような状況のなかで当社グループは、市場ニーズを的確に捉えた製品開発と営業活動を継続するとともに販売価格の見直しを精力的に行い、生産体制の効率化等のコスト削減と合わせて収益の改善に努めました。

この結果、売上高は223億2千7百万円（前年同期比0.6%減）、営業利益は1億9千9百万円（前年同期比134.0%増）、経常利益は3億3千4百万円（前年同期比42.7%増）、四半期純利益は8千8百万円（前年同期比23.9%減）となりました。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

① 食品事業

食品事業につきましては、主要需要先である製パン業界、製菓業界において需要が回復基調で推移しましたが、円安による食品の相次ぐ値上げの影響により、消費は総じて低調に推移しました。このような状況のなか、マーガリン、ショートニング等の主力製品はもとよりホイップクリーム、粉末油脂等の高付加価値製品の拡販に全力を挙げて取り組むとともに販売価格の是正を行い収益の確保に努めました。

その結果、売上高は159億8千万円（前年同期比0.4%減）、営業利益は3億4千9百万円（前年同期比48.1%増）となりました。

② 油化事業

工業用油脂製品につきましては、グリセリンや香粧品用の脂肪酸の拡販により堅調に推移いたしました。界面活性剤製品につきましては、環境改善関連分野の飛灰用重金属処理剤の販売が伸長いたしましたが、紙パルプ分野の家庭紙用薬剤や香粧品分野の香粧品基剤が前年の消費増税による特需の反動により伸び悩み、損益面においては非常に厳しい状況で推移いたしました。

その結果、売上高は62億6千万円（前年同期比1.1%減）、営業損失は1億8千2百万円（前年同期は営業損失1億8千3百万円）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ11億5千8百万円増の486億1百万円となりました。主な増加は原材料及び貯蔵品3億7千万円、機械装置及び運搬具（純額）2億9千9百万円、有形固定資産のその他（純額）8億4千1百万円、投資有価証券17億7千8百万円、退職給付に係る資産3億9千6百万円であり、主な減少は現金及び預金10億3千1百万円、受取手形及び売掛金15億1千万円であります。

負債は、前連結会計年度末に比べ4億3千8百万円減の256億2千9百万円となりました。主な減少は支払手形及び買掛金15億3千1百万円、長期借入金3億3千2百万円、退職給付に係る負債6億3千1百万円であり、主な増加は流動負債のその他10億7千3百万円、固定負債のその他9億5百万円であります。

純資産は、前連結会計年度末に比べ15億9千7百万円増の229億7千2百万円となりました。主な増加は利益剰余金2億9千9百万円、その他有価証券評価差額金12億9千2百万円であります。

この結果、当第2四半期連結会計期間末の自己資本比率は、前連結会計年度末の45.0%から47.2%に増加しました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

平成27年12月期の業績予想につきましては、平成27年2月13日に公表いたしました連結業績予想から変更はありません。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動
該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用
該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
(会計方針の変更)

退職給付に関する会計基準等の適用

「退職給付に関する会計基準」(企業会計基準第26号 平成24年5月17日。以下「退職給付会計基準」という。)及び「退職給付に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第25号 平成27年3月26日。以下「退職給付適用指針」という。)を、退職給付会計基準第35項本文及び退職給付適用指針第67項本文に掲げられた定めについて第1四半期連結会計期間より適用し、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を見直し、退職給付見込額の期間帰属方法を期間定額基準から給付算定式基準へ変更するとともに、割引率の決定方法を従業員の平均残存勤務期間に近似した年数に基づく割引率から、退職給付の支払見込期間及び支払見込期間ごとの金額を反映した単一の加重平均割引率を使用する方法に変更しております。

退職給付会計基準等の適用については、退職給付会計基準第37項に定める経過的な取扱いに従っており、当第2四半期連結累計期間の期首において、退職給付債務及び勤務費用の計算方法の変更に伴う影響額を利益剰余金に加減しております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の期首の退職給付に係る資産が392百万円増加、退職給付に係る負債が414百万円減少し、利益剰余金が519百万円増加しております。なお、当第2四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益に与える影響は軽微であります。

3. 継続企業の前提に関する重要事象等

該当事項はありません。

4. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,064	4,032
受取手形及び売掛金	13,229	11,718
商品及び製品	2,292	2,308
仕掛品	518	528
原材料及び貯蔵品	2,072	2,442
その他	484	525
貸倒引当金	△4	△3
流動資産合計	23,657	21,552
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	4,103	4,053
機械装置及び運搬具(純額)	3,446	3,745
土地	5,327	5,327
その他(純額)	873	1,715
有形固定資産合計	13,750	14,842
無形固定資産		
その他	192	194
無形固定資産合計	192	194
投資その他の資産		
投資有価証券	7,952	9,731
退職給付に係る資産	1,673	2,069
その他	236	227
貸倒引当金	△19	△15
投資その他の資産合計	9,842	12,012
固定資産合計	23,785	27,049
資産合計	47,443	48,601

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (平成26年12月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成27年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	10,101	8,569
短期借入金	2,975	2,975
1年内返済予定の長期借入金	1,122	1,171
未払法人税等	40	47
その他の引当金	7	6
その他	2,176	3,249
流動負債合計	16,423	16,020
固定負債		
長期借入金	5,668	5,335
退職給付に係る負債	3,023	2,392
役員退職慰労引当金	503	525
その他	449	1,355
固定負債合計	9,644	9,608
負債合計	26,068	25,629
純資産の部		
株主資本		
資本金	9,015	9,015
資本剰余金	5,492	5,492
利益剰余金	4,604	4,903
自己株式	△23	△23
株主資本合計	19,087	19,386
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	1,722	3,014
退職給付に係る調整累計額	534	540
その他の包括利益累計額合計	2,257	3,554
少数株主持分	30	30
純資産合計	21,374	22,972
負債純資産合計	47,443	48,601

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
売上高	22,470	22,327
売上原価	19,379	19,148
売上総利益	3,091	3,178
販売費及び一般管理費	3,006	2,978
営業利益	85	199
営業外収益		
受取利息	2	1
受取配当金	168	120
持分法による投資利益	30	2
その他	51	87
営業外収益合計	252	211
営業外費用		
支払利息	87	60
その他	16	16
営業外費用合計	103	77
経常利益	234	334
特別損失		
有形固定資産除却損	30	94
その他	-	0
特別損失合計	30	94
税金等調整前四半期純利益	204	239
法人税、住民税及び事業税	12	20
法人税等調整額	77	130
法人税等合計	89	150
少数株主損益調整前四半期純利益	114	88
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△1	0
四半期純利益	116	88

四半期連結包括利益計算書
第2四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	114	88
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△112	1,287
退職給付に係る調整額	-	5
持分法適用会社に対する持分相当額	0	5
その他の包括利益合計	△112	1,297
四半期包括利益	2	1,386
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	3	1,386
少数株主に係る四半期包括利益	△1	0

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成26年1月1日 至平成26年6月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成27年1月1日 至平成27年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	204	239
減価償却費	681	678
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△232	-
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	-	△216
受取利息及び受取配当金	△170	△121
支払利息	87	60
持分法による投資損益(△は益)	△30	△2
売上債権の増減額(△は増加)	730	1,510
たな卸資産の増減額(△は増加)	△596	△395
仕入債務の増減額(△は減少)	△921	△1,531
その他	170	291
小計	△77	512
利息及び配当金の受取額	182	133
利息の支払額	△88	△61
法人税等の支払額又は還付額(△は支払)	△77	11
営業活動によるキャッシュ・フロー	△60	595
投資活動によるキャッシュ・フロー		
投資有価証券の売却による収入	1	-
有形固定資産の取得による支出	△528	△966
その他	△40	△64
投資活動によるキャッシュ・フロー	△567	△1,030
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(△は減少)	2,200	-
長期借入れによる収入	3,000	300
長期借入金の返済による支出	△4,601	△582
自己株式の純増減額(△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△309	△309
その他	△4	△4
財務活動によるキャッシュ・フロー	284	△596
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△343	△1,031
現金及び現金同等物の期首残高	4,598	5,064
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,254	4,032

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当第2四半期連結累計期間の期首より、退職給付債務及び勤務費用の計算方法を変更したことに伴い、期首の利益剰余金が519百万円増加しております。

(セグメント情報等)

I 前第2四半期連結累計期間(自 平成26年1月1日 至 平成26年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	16,041	6,331	22,372	97	22,470	—	22,470
セグメント間の内部売上高 又は振替高	55	—	55	71	127	△127	—
計	16,097	6,331	22,428	169	22,598	△127	22,470
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	235	△183	52	32	85	—	85

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

II 当第2四半期連結累計期間(自 平成27年1月1日 至 平成27年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント			その他	合計	調整額	四半期連結 損益計算書 計上額
	食品事業	油化事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	15,980	6,260	22,241	86	22,327	—	22,327
セグメント間の内部売上高 又は振替高	79	—	79	71	150	△150	—
計	16,059	6,260	22,320	157	22,478	△150	22,327
セグメント利益 又はセグメント損失(△)	349	△182	166	32	199	—	199

(注) 1 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、不動産賃貸、原料油脂等を含んでおります。

2 セグメント利益又はセグメント損失の合計は、四半期連結損益計算書の営業利益と一致しております。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。